

# 申 国

◇ 広島支局 ◇  
 広島市中区上八丁堀7-1  
 ハイオス広島6F  
 ☎082(227)4501  
 FAX082(228)2373

倉吉市(広田一恭市長)はジャパンガスのエナジー(=JGE、本社・東京、大浜健社長)など7社による企業版ふるさと納税の寄

付を受け、災害対応型簡易オートガススタンド1基、LPガスとガソリンを併用するスクールバス1台を導入した。有事を想定し、指定避難所の市立小鴨小学校に簡易スタンドを設置。平時は市立久米小学校への通学用にLPガス車を利用する。9日、市役所で寄付者への感謝状贈呈式を開き、小鴨小での現地視察も行った。

## 倉吉市

# スタンドとLPガス車導入

## 7 JGEなど 企業版ふるさと納税で

設備導入事業の実現は、JGE若手社員のアイデアが背景にある。昨年1月、市立灘手小学校の統廃合により明治以来の小学校が灘手地区から姿を消したという新聞記

事を目にしたという。各地方を支えるLPガスの強みを生かしながら地域の課題を解決するため、企業版ふるさと納税の活用に着目。市に相談したところ山陰合同銀行が地

元や縁のある異業種の企業を仲介し、約2266万円寄付を集めた。約810万円の災害バルク補助金も活用し総事業費3076万円を賄った。カクラパーパーテック

た。事業は若手社員のアイデアが原型になっており、成就したことは社長としても感慨深い。平時の通学利便性を高めながら、有事にはレジリエンス強化に役立つ「石二鳥の設備である」とあいさつ。広田市長は「LPガスは分散型エネルギーで復興にも強い。CO2排出量が少なく、燃焼ガスもクリーンだ。寄付いただいた皆さまに感謝申し上げる」と謝辞を述べた。式にはJGEから千谷明丈・執行役員販売部門西日本支店長、同支店の工藤祐治氏、新規事業推進室の久保勇人氏が出席。山陰酸業工業の三輪淳一・取締役常務執行役員営業本部長、田邊忍・倉吉支店長も列席した。カクラパーパーテックからは宮寺保如・取締役国内営業担当兼ブランド検査部長、清水友哉・サービスマンが参加し、小鴨小でオートコンポの機能特徴を説明。充填作業も実演した。



感謝状を手にする大浜健社長、広田一恭市長(左隣)とLPガス関係者



小鴨小で簡易ガススタンド「オートコンポ」とLPガス車を視察した

(同・尼崎市、田中恵里砂社長)製800kg貯槽の簡易スタンド「オートコンポ」とケイテック(同・酒田市、小松豊社長)のLPガス車改造キットを搭載した「ハイエース」を整備。平時利用と発電機、炊き出し用燃料の備蓄、避難者と物資の輸送を目的とした。スタンドの設置工事を山陰酸素工業(同・米子市、並河元社長)が担当し、ガス供給も行う。感謝状贈呈式で大浜社長は「LPガスに関わる事業者としてお役に立てることを考え、企業版ふるさと納税の活用を考え